



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場会社名 DMG森精機株式会社  
コード番号 6141 URL <http://www.dmgmoriseiki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 森 雅彦  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長経理財務本部長 (氏名) 近藤 達生  
四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 平成25年12月2日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

TEL 052-587-1811(代表)

平成25年12月2日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	76,766	4.4	3,452	82.2	3,479	—	3,026	375.5
25年3月期第2四半期	73,564	2.4	1,895	△18.6	110	△89.7	636	△48.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,606百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △2,763百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	27.81	27.80
25年3月期第2四半期	5.82	5.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	206,362		111,575	52.0			993.46	
25年3月期	186,653		104,481	55.0			938.53	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 107,409百万円 25年3月期 102,659百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	6.4	8,000	93.5	8,500	69.8	7,200	39.3	66.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものです。

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	118,475,312 株	25年3月期	118,475,312 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	10,358,363 株	25年3月期	9,091,233 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	108,840,987 株	25年3月期2Q	109,384,802 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

記載している予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成25年10月30日(水)に当社ホームページに掲載を予定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から9月30日)の引合・受注の環境は、日本工作機械工業会が発表した平成25年1月から9月の工作機械受注実績が前年同期比で14.9%減少しましたが、当社グループにおいては、米州を中心とした好調な需要に加え、国内や欧州においても回復の兆しもあり、引き続き高水準の受注が期待できるものと考えております。

当社は平成25年10月1日より商号を、DMG森精機株式会社(英文:DMG MORI SEIKI CO., LTD.)に変更しました。「One brand for the world」のもと、当社とDMG MORI SEIKI Aktiengesellschaft(同日にGILDEMEISTER AGから商号を変更。以下、DMG MORI SEIKI AG)の両社は、工作機械業界では類を見ない、よりイノベティブな製品をご提供するため、協業関係をさらに強化してまいります。DMG森精機株式会社は、伝統によって築かれた精度や技術を充実させ、世界中のお客様に、より信頼されるパートナーになりたいと考えております。

9月に独国で開催された「EMO Hannover 2013」では、新開発のオペレーティングシステム「CELOS」や新デザインコンセプト仕様の15台の機械を世界で初めて公開し、DMG MORI SEIKI AGとともに両社合わせて約100台の工作機械を出展し、約2万名のお客様にご来場いただきました。「CELOS」は両社の新機種全てに搭載可能であり、「CELOS」を搭載した機械は平成26年4月以降、出荷を開始する予定です。新デザインコンセプトは機能性や使いやすさ、耐久性を進化させ、両社の機種統合が一目で分かるものとなります。

9月より中国・天津市で操業を開始している天津工場のグランドオープンを10月18日に行いました。天津工場は平成24年7月に操業を開始したDMG Mori Seiki Manufacturing USA Inc.(以下、DMSM)に次ぐ海外製造拠点で、今回の操業開始により、欧州・北米・日本・中国の世界4極での生産体制を強化し、ロジスティクスコストの低減と納期短縮を図り、お客様によりよい製品とサービスを提供してまいります。

DMG MORI SEIKI AGとの資本・業務提携については、8月に同社が新たに発行する株式を引受け、その対価として、当社の子会社である株式会社マグネスケール(以下、マグネスケール)と、当社の孫会社であるDMSMの株式を譲渡し、また9月には同社の新株発行を引受けました。この資本参加により、マグネスケールは共同で技術開発を進め、お客様層を広げることで将来の事業の拡大を図り、DMSMは北米市場の好調な環境の中で、生産技術の協力を仰ぎ、安定した生産体制の立ち上げを図ってまいります。

こうした状況のもとで、当第2四半期連結累計期間における売上高は76,766百万円(前年同四半期比4.4%増)、営業利益は3,452百万円(前年同四半期比82.2%増)、経常利益は3,479百万円(前年同四半期は110百万円の経常利益)、四半期純利益は3,026百万円(前年同四半期比375%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は206,362百万円となり、前連結会計年度末比19,708百万円の増加となりました。その主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金が1,872百万円、建物及び構築物が2,933百万円、投資有価証券が14,777百万円、それぞれ増加したことが挙げられます。

なお、純資産は111,575百万円となり、自己資本比率は52.0%と前連結会計年度末比3.0ポイント悪化しております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日に公表いたしました通期の連結業績予想から、好調な受注環境を背景として、売上高を158,000百万円、営業利益を8,000百万円、経常利益を8,500百万円、当期純利益を7,200百万円にそれぞれ修正しております。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (有形固定資産の減価償却方法の変更)

従来、当社及び国内連結子会社において、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く）を除く有形固定資産の減価償却方法について、定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、国内連結子会社1社を除く全ての有形固定資産の減価償却方法を定額法に変更しております。

当社グループは、中期経営計画に基づき、生産拠点のグローバル化、DMG MORI SEIKI AG との共同販売・開発・相互生産等の施策を進める中で、グローバルでの共通した管理体制の構築の必要性が増したことを契機として、生産設備の稼働状況の検証を実施しました。その結果、今後は生産拠点のグローバル化や DMG MORI SEIKI AG との販売拠点の統合及び相互生産体制の構築により、生産設備がより安定的に稼働することとなるため、定額法による減価償却の方法が設備の稼働実態に基づく経済的便益の消費パターンを適切に表すと判断し、変更するものであります。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は360百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,287	5,855
受取手形及び売掛金	24,824	26,696
商品及び製品	12,195	13,879
仕掛品	7,189	8,175
原材料及び貯蔵品	18,555	16,950
繰延税金資産	2,742	3,097
未収消費税等	430	395
その他	2,744	3,329
貸倒引当金	△230	△157
流動資産合計	74,739	78,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	26,094	29,028
機械装置及び運搬具(純額)	5,989	6,670
土地	21,774	21,922
リース資産(純額)	3,995	3,860
建設仮勘定	1,882	447
その他(純額)	3,052	3,251
有形固定資産合計	62,788	65,180
無形固定資産		
のれん	666	1,069
その他	5,245	4,084
無形固定資産合計	5,912	5,153
投資その他の資産		
投資有価証券	40,367	55,144
長期前払費用	310	457
繰延税金資産	944	759
その他	1,591	1,445
投資その他の資産合計	43,213	57,806
固定資産合計	111,914	128,139
資産合計	186,653	206,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	9,077	12,477
短期借入金	23,929	11,530
1年内償還予定の社債	—	15,000
リース債務	428	424
未払金	3,855	5,366
未払費用	1,583	2,138
前受金	1,894	1,596
未払法人税等	981	967
未払消費税等	75	45
繰延税金負債	249	203
製品保証引当金	832	850
賞与引当金	168	221
その他	1,177	521
流動負債合計	44,253	51,344
<b>固定負債</b>		
社債	30,000	35,000
リース債務	3,986	3,884
繰延税金負債	1,400	1,624
再評価に係る繰延税金負債	1,485	1,485
退職給付引当金	222	246
長期未払金	748	676
資産除去債務	62	63
その他	13	461
固定負債合計	37,918	43,441
負債合計	82,172	94,786
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	41,132	41,132
資本剰余金	53,863	53,863
利益剰余金	18,270	20,191
自己株式	△11,743	△13,397
株主資本合計	101,523	101,789
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	2,616	2,746
繰延ヘッジ損益	185	197
土地再評価差額金	1,759	1,759
為替換算調整勘定	△3,423	916
その他の包括利益累計額合計	1,136	5,620
新株予約権	434	57
少数株主持分	1,386	4,108
純資産合計	104,481	111,575
負債純資産合計	186,653	206,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	73,564	76,766
売上原価	51,654	51,679
売上総利益	21,910	25,087
販売費及び一般管理費	20,015	21,634
営業利益	1,895	3,452
営業外収益		
受取利息	21	12
受取配当金	225	254
為替差益	—	561
持分法による投資利益	118	—
その他	92	115
営業外収益合計	459	944
営業外費用		
支払利息	274	279
為替差損	1,646	—
支払手数料	57	90
持分法による投資損失	—	241
その他	265	306
営業外費用合計	2,243	917
経常利益	110	3,479
特別利益		
固定資産売却益	4	15
投資有価証券売却益	—	4
持分変動利益	—	3,432
新株予約権戻入益	16	373
受取保険金	409	—
特別利益合計	429	3,826
特別損失		
固定資産売却損	2	1
固定資産除却損	5	27
その他の投資評価損	—	1
持分変動損失	—	895
事業構造改革費用	—	2,656
退職給付費用	8	—
リース解約損	15	—
特別損失合計	31	3,583
税金等調整前四半期純利益	508	3,722
法人税、住民税及び事業税	150	594
法人税等調整額	△400	△3
法人税等合計	△249	590
少数株主損益調整前四半期純利益	758	3,132
少数株主利益	121	105
四半期純利益	636	3,026



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	758	3,132
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,593	471
為替換算調整勘定	△1,124	1,143
持分法適用会社に対する持分相当額	△804	2,859
その他の包括利益合計	△3,521	4,474
四半期包括利益	△2,763	7,606
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,877	7,510
少数株主に係る四半期包括利益	114	96

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。